



巻頭記事 1月新年例会開催

1月例会担当委員長の想い

総務委員長 岩田 剛

西部青年中央会 トライアスロン
実行委員長・各部長決定!

行列のできる法律相談所

『暴落のあと』 相場師 佐々木 雅彦

連載記事 **ススメマスイ!**

特集 業あり西部の躍動人

「軽くて重い、薄くて厚い、弱くて強い紙の不思議」

(有)後藤屋紙器 後藤 公平

ショーバイ・商売

松江 忠雄OB(株)ダイマツ)

ゴルフ同好会 35周年ゴルフコンペPR

いわしてごしない! ~副会長編~

厄落としの会

2月例会への想い

自然文化発掘委員長 須山 裕文

発行人 / 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 増井 幸一

編集責任者 / 担当 副会長 河津 慎二 制作・編集 35期広報委員会 / 委員長 小川 敦弘 印刷所 / 東京印刷(株)

1月新年例会開催 ~新春賀詞交歓会~

平成22年1月18日(月)米子全日空ホテルにおいて、来賓、OB会員の方々をお招きし、新春賀詞交歓会として「1月新年例会」が開催された。



まずは2名の新入会員へのパッチ授与、緊張感漂う挨拶があり、御来賓の入場後、開会にあたり、増井会長より、今回出席していただいた御来賓・OB会員の方々にお礼を述べられた後

「私たちはこの地域の青年経済人の先頭に立ち、リードしていく、それが私たちのつとめだと思っております。4月に35周年事業を躍動というテーマで開催します。今年もいきいきと活動していく躍動人であり続けることを約束します。」と挨拶を



述べられた。引き続き御来賓の皆様よりご挨拶をいただいた後、鏡開きが行われ、乾杯の音頭を



中村境港市長からいただき、「躍動人」の銘の入った枡で乾杯となった。

今年は岩田総務委員長の「特に懇親の時間を多く取る内容とし、当会の更なる発展の為、御来賓、OB会員との親睦を図る事を目的とする」という想いで、歓談の時間が長くとりられ盛んに賀詞交歓、名刺交換が行われた。

アトラクションは2部構成で、まず昨年度大活躍のTSC野球部のメンバーを映像で紹介し、中央会新名物の「白ネギ踊り」を米子市のイメージキャラクター「ヨネギーズ」とともに踊り、これからの活躍を応援した。

次は、「新春初夢つかみどり」として受付時に支払った500円(総

額約6万円)を、全員参加のじゃんけん大会で勝った最後の一人がもらえるアトラクションが開催され、寺澤OBとの直接対決に勝利し見事最後の一人に勝ち残ったのは茅野康洋会員だった。喜びの中に戸惑いが混じったコメントが終わると、アトラクション司会の山本徹会員より「35周年事業の一部、あるいは全部寄付頂けないでしょうか?」とのアナウンスを受け、非常に残念そうに全額寄付された。(笑)

岩田総務委員長の企画通りゆったり親睦も図れ、大成功のうちに終えた新年例会だった。(記事:久保田)



1月例会担当 総務委員会委員長の想い



総務委員会
岩田 剛 委員長

過日、開催いたしました1月新年例会が盛大に開催できましたこと、まずもって御礼申し上げます。来賓12名、OB会員35名の皆様方に花を添えていただき、誠にありがとうございました。今年1年、厳しい経済状況が予想される中、その状況をどのように打破するのか、1歩でも何とか前に進むにはどうすればよいのか、日々思うとき、明るく元気な仲間や諸先輩方と新たな年のスタートを切るために、新春賀詞交歓会として、この1月新年例会を企画いたしました。

また、アトラクションの折には35周年事業のためにご寄付まで頂戴し、感謝するばかりでございます。

今後来賓、OB会員の皆様と親睦がより深められるような例会作りをしてまいりたいと考えております。今後とも宜しくお願い致します。

最後に、徹夜で「謹賀新年 躍動人」の懸垂幕を作成いただいた加藤典史会員、ありがとうございました。

2月例会への想い

自然文化発掘委員長 須山裕文

まだ先の事だと思っていた担当例会が、いよいよ2月16日(火)にふれあいの里で開催されます。

今年度、徹底して地元の歴史考察を重ねてきたわけですが、その中で知った事実・場所などは今後、我々の記憶の中に残すべきものばかりでした。今回の例会では、そんな地元の歴史のすばらしさを是非とも皆さんに知ってもらいたいと願っています。

セミオープン例会で行いますので、ご家族・会社の皆さんなど、1人でも多くの方にお越しいただければと思います。どうぞ「山陰の戦国歴史絵巻」をお楽しみください!

西部青年中央会 トライアスロン実行委員長・各部長決定!!



西部青年中央会 トライアスロン実行委員長 水 康徳

この度、西部青年中央会のトライアスロン実行委員長を拝命しました水です。全日本トライアスロン皆生大会は今年、30回の節目を迎えます。鉄人レースと称されるこの大会は、800人を越えるアスリートが鳥取県西部を舞台に自らの限界に挑むレースです。そしてその何倍もの数の学生や地域の人々がボランティアとして参加している、この地域にとって重要なイベントです。今年も“オール中央会”のもと、私たち青年中央会の力でこの大会を盛り上げましょう。

マラソン部長 桑本 功一



マラソン部。何が楽しいか？と聞かれると、やはり終わった時のやり遂げた充実感でしょうか。充実感を得るためにも、ぜひ競技を終わった選手に一言「お疲れさまでした」の声を掛けてみてください。無償でボランティアする意義の一つの答えがそこにあります。部長職を精一杯全うする考えですので、ご協力よろしくお祈りします！

AS部長 松本 誠二



こんにちは。このたび、中央会のAS部長を拝命いたしました、松本誠二です。30回目という栄えある記念大会に、現役・OB会員とボランティアのみなさん一緒になって、1日気持ちのいい汗をかくことができると、そんなことを思っています。最後まで、よろしくお祈りいたします。

ボランティア部長 土岐 哲己



第29回大会に引き続き、記念すべき第30回大会も部長を勤めさせていただきます。前回、競技途中での中止ということで、職務を全うできなかった分も今大会に注力し、中央会の一員として貢献したいと思っております。

行列のできる 法律相談所

『暴落のあと』

相場師 佐々木 雅彦
(中央会会員)

まだ記憶に新しいところでは2008年秋のリーマンショックでの暴落、そして2番底的な2009年春の7,000円を攻防線とする暴落がありました。

そこで2010年をむかえた現在、今後はどうなるか考えていかなければならないのですが、あくまで勝手な予想でいうと長期の上昇相場の出発の年になるのではないかと考えています。セミナーで使用するような資料をここで紹介することは紙面的に困難ですが、単純に歴史的な暴落をした後の株式市場のパターンとしては昨年後半に見られた安値からの反騰、その後ある程度の調整をした後に長期の上昇に入ることが多いようです。(あくまで過去のケースですが)

相場のテーマとしては『グリーン・エネルギー』、『モーダルシフト』、『スマートグリッド』、『アジア』、『水』などの関連が良さそうです。(興味がある方は検索してみてください)

直近の相場で、ハイテク技術を持ちブランド力のある日本企業に海外から大量の買いが入ったりしてるようですので、既に狼煙が上がったのかもしれない。

中央会をふりかえって… 山本 竜男 会員

本年度卒会を迎える私にとって、まず反省の弁から述べなくてはなりません。平成13年12月に入会し、在籍7年、思い起こせば青年中央会の活動に何一つ協力しなかったなあ、という罪悪感のような気持ちがありました。「このまま終わってもいいのか？」という自分ではどうしようもないジレンマに襲われていた時、増井会長より「委員長をしてくれないか」というお電話をいただき、本当にうれしかったことを覚えています。委員長をお受けした時から年間のビジョンをすぐに頭の中に思い浮かべながら、この一年間は青年中央会の為に、そして自分自身の為に活動し、11月担当例会の時にもハンサムで述べましたが、「爪痕(つめあと)」を残したい。



入会当時の写真
(会員手帳の写真は7年前の山本委員長だったのですね…)

これを読まれた現役会員の方、説得力にはすごく欠けませんが、在籍中に何か残して下さい。下半期、第35期地域ビジョン委員会の委員長として、青年中央会の歴史に残る委員会にしたいと思っています。

「この文章、思い出じゃないよねえ〜。反省文だよねえ〜」

業あり 西部の躍動人

軽くて重い、薄くて厚い、弱くて強い紙の不思議

(有)後藤屋紙器 後藤 公平 (中央会会員)



簡易組立箱

瞬時に何をやっている会社なのかわからない社名ですが、紙そのものを売るのではなく、加工して立体に仕上げる仕事をしています。和菓子等が入る貼箱や洋菓子等が入る簡易組立箱の製造をはじめ、ブックケースやメニュー、パイナダーといった各種紙工品の加工ほか、ダンボールケースやダンボールシートも取り扱っております。

特に、通常1ミリ以下であるボール紙(=画用紙と考えてください。)を何枚も合わせた積層の厚紙加工には評価をいただき、コクヨ、ライオン、サンゲツ等の文具やサンプル帳の孫請けもしています。

また、実用化にまでは昇華できませんでしたが、大規模災害発生時の避難所に設置する特殊ダンボール製パーティションの特許ならびに部分意匠が取れたことは紛れもなく中央会における委員会活動のおかげでした。

今後も地域の中核を担う世代であるとの責任を自覚し、派遣してくれている会社への感謝を忘れることなく、頑張っていくつもりです。



特殊ダンボール製パーティション

お問合せ (有)後藤屋紙器 米子市泉215 ☎27-4129

ショーバイ・商売

松江 忠雄OB(株ダイヤモンド)

～山陰発全国へ！～

地元にながら全国展開している、または全国を目指している企業を紹介する「ショーバイ・商売」。今回は、専務取締役をされている松江忠雄OB所属の株式会社ダイヤモンド取材してきました。

《株式会社ダイヤモンド》



株式会社ダイヤモンドは氷温技術を使った水産加工品を製造、販売している企業。自社商品のインターネット販売に取り組んでおられます。

Q:通信販売をはじめたきっかけは？

A:直接、お客様へ商品を販売したいと思ったのがきっかけです。約5年前から全国のお客様を対象に通信販売を開始し、昨年12月よりインターネット通販にも参入しました。自社商品約30品目を販売しています。

Q:反響、効果は？

A:「始めた当時は手探り状態でした。継続性のある健康食品と違い、当社の商品は食事の「おかず」なのでリピート率が低かった。」
「しかし、食材の鮮度や製法にこだわった商品づくりをしておく中で、リピーターも増えてきました。お客様はおいしいものは多少高額でも購入されます。だから商品開発や品質がとても重要

であると実感しました。」

「人気商品は湯せんやレンジで簡単調理するだけでおいしく食べられるシリーズ、あじのまるやか甘酢漬けなどです。」

「ダイレクトにお客様の声が聞こえてくるので、それが商品づくりの励みにもなり、ヒントにもなります。現在はおお客様の約80%が県外のお客様です。」

Q:これからの商品展開は？

A:「さまざまな商品開発をすすめています。その1つとして高齢者向けの商品を考えています。おいしくて食べやすく、骨のない商品を目指しています。」

当社の理念に「世界一おいしい食品をつくる」というのがあります。大きな目標ではありますが、それくらいの気概を持って商品づくりを行っています。」

株式会社ダイヤモンドでは氷温技術を使った商品づくりが評価され、2008年に自社商品が航空会社の国際線のファーストクラス、ビジネスクラスに採用されました。「世界一おいしい商品をつくる」という思いが、1つ結実したのではないのでしょうか？

(記事:本池)

「ゆわせてごむなり！」～副会長編～

今の、企業の賞味期限は30年と言われているが、10年間なにもしなければ確実に存在もなくなっている企業もあると思います。時代(とき)は流れているのだから、何も変化がなければ、いつか必ず衰退して行くのは固形物と同じで、ごく普通の事だ！と思います。

最近よく聞くのが老舗で繁盛しているラーメン屋は客にわからないように味を変化させて行くから「あそこのラーメンはうまい！」と言われるらしい。いくらおいしいラーメンを作った所

で時間がたつとそのうちあきらめられると言う事らしい。

さて、会も同じであると思う、「前はこうだった、ああだった」と昔した事と同じ事をしていても変化がない。当然前にした事業の良い面は残しながら、新しい事も模索しながら事業を行って行かなければいけないと思う。

最近の傾向としてあまり考えずに前の事業はこうだったと楽な方に進みがちの所があるが削るところは削る・入れるものは入れる、失敗を恐れずに事業をしていただきたいと思います。(今年は新しい事もしているが一部マンネリな部分も…)

最後に金銭面もどうにかなるじゃなくて、ある金額で最大限の事業をしようと考えた方が良くと思います。(記事:松原副会長)

思い出せないあなたは “危ない”物忘れ？

「物忘れチェック」スタート!

チェック1

- 久しぶりに会った知人の名前が思い出せない
- 前日の夕食の献立が思い出せない
- 買い物に出かけたが、何をかうのか忘れてしまった
- 朝、メガネや携帯電話のありがたかわからず、探しまわる
- 会社勤めをやめて以来、ときどき曜日がわからなくなる
- 数日前に友人とばったり会ったが、どこで会ったか忘れた

診断と結果

- 0 異常なし
- 2つ以下 正常な範囲の物忘れ、記憶力をきたえるトレーニングをしよう。
- 3つ以上 「チェック2」に進む。

チェック2

- 親族の冠婚葬祭への出席予定を忘れてしまった
- 旅館の大浴場に行ったら、部屋に戻れなくなってしまった
- 買い物メモに書いて出かけたが、メモがあることを忘れてしまった
- 数日前に会った知人から電話があったが、会ったこと自体を忘れていた
- いつも作る料理の手順がわからなくなってしまった
- 印鑑や通帳は決まった場所にしまっていたのだが、それが思い出せない

診断と結果

- 1つ以上 正常な範囲の物忘れ、記憶力をきたえるトレーニングをしよう。
- 2つ以上 病的な物忘れの可能性が有る。「物忘れ外来」に相談を。

「人の名前が思い出せない」「何を探しているのか忘れてしまった」。こういった物忘れの経験は、誰にもあると思います。

そんなとき心配になるのは、その物忘れが“痴ほう”(認知障害)の初期症状ではないかということ。そこで、簡単なチェックによって、物忘れが加齢による自然なものなのか、それとも病的な原因によるものなのかを調べてみましょう。下のチェック表をまず試してみてください。

チェック表で、「正常な範囲の物忘れ」と診断された人は、加齢にともなう自然な記憶力の低下といってよいそうです。実は、自分で物忘れを心配している人は、まず9割が大丈夫だそうです。

問題なのは、物忘れしたこと自体を忘れてしまう人です。こうなると、会った人の名前が出てこないどころではなく、その人に会ったことすら忘れてしまいます。できごと自体を忘れてしまうため、自分が病気であるという自覚がないのが厄介です。そういった病的な物忘れは、周囲にいる家族によるチェックが必要となります。

さて、病的ではないといっても、できれば物忘れはしたくないもの。

そこで、毎日の生活の中でできる記憶力トレーニングを2つ紹介します。

1つは、夜寝る前に、1日のできごとを復習するというトレーニングです。そのときに思い出すポイントは次の3つ。「その日に会った人の顔とフルネーム」「その日食べた食事の内容」「支出した金額と使い道」です。これを毎日繰り返すだけでも、記憶力はアップします。

もう1つのトレーニングは、初めて会った人の名前が、なかなか覚えられない人向けのもの。

それは、いったん名前を聞いたなら、会話の中に頻りに相手の名前を入れる癖をつける事です。「ところで、〇〇さんはどちらのご出身ですか」「このあたりには、〇〇さんはよくいらしゃるんですか」といった調子で繰り返すことによって、その人の名前が頭にたたきこまれるそうです。

専門家によれば、使わない記憶は「がけ崩れの起きた山道のようなものだ使って通りをよくしておかないと、どんどんと荒れはてて通れなくなってしまおう」と言われます。心当たりのある方は試してみてください。

(記事:小川)

ゴルフ同好会、35周年コンペPR だからゴルフは止められない!

「ファーッ!!」同伴者の声と共に高々とスライスした球は米子GC 10番ホール(パー4)から隣の1番ホールの左ラフ…第2打松の木超えてグリーン狙った球がバンカーへ…第3打ピン奥のカラーとラフの境目に!…ピンまで15m下りのフックライン軽くSWで上げてトロトロよせるはずの第4打がトップ!ピンに「ガツ」っと直撃して「パーセーブ」!!!だからゴルフは止められません。これが今年打ちはじめの第1ホールでした!!

ゴルフファンの皆様いかがお過ごしでしょうか?相変わらず一か八かのゴルフをしています、青中ゴルフ部世話人の手島です。

ご案内したように、鳥取県西部青年中央会35周年記念協賛ゴルフコンペが3月27日グリーンパーク大山GCで行われます。予定人数は100名と盛大に行われる予定です。景品も多数ご用意していますので、初級上級問わず多数のご参加お待ちしております。(記事:手島副会長)



秋里 武信 A型

水道屋 あきさと 代表

一般住宅を中心とした給排水設備工事

〒689-3511 米子市下郷410番地

TEL 21-3939 FAX 39-3765

(KT) 090-7997-6190

(EM) suidouya-akisato@ymail.plala.or.jp

S48.10.25生

H21.01 (H21年度)入会
(推薦者) 加藤(典)
内田(和)

(コメント) この度、1月に入会させていただきました。秋里 武信です。一般住宅の給排水設備工事を中心とした、設備会社を経営しております。全く知らない世界。全く経験の無い雰囲気。そんな中、自分自身何ができるのか、今は全くわかりませんが、色々な方々と色々な交流の中で何かできるように、がんばりたいと思いますので、どうぞ、よろしくお願いします。



遠藤 亨 A型

有限あつぷるはうす 営業部部长

広告業・広告代理店業

〒683-0853 米子市両三柳288番地2

TEL 32-8791 FAX 22-8066

(KT) 080-3870-4809

(EM) ganges@applive.com

S51.7.16生

H21.01 (H21年度)入会
(推薦者) 長谷川(洋)
松田(幸)

(コメント) 有限会社あつぷるはうすの遠藤亨です。中央会に入会させていただき、先輩方から多くを学び、自分の糧にしていこうと思っております。まだまだ至らぬ点がたくさんあると思いますが、ご指導よろしく願います。



厄落としの会

平成22年1月23日(土)毎年恒例の厄落としの会が神田神社で行われた。今年は、前厄、本厄、後厄、お礼参りの会員15名が日頃の行いを棚に上げ、年に一度の神頼み…。これで一年間無事に乗り切れると誰もが確信し神社をあとにした。

その後、懇親会会場である海潮園へ移動。本厄の薬師寺会員の乾杯で宴会スタート。「腹がすいては戦が出来ぬ」とばかりに誰もが目の前の料理に箸をつけはじめた。そして30分過ぎた頃だろうか?恒例でもある厄落としの大皿の一気に飲みが始まり、本番スタート!その後…。詳しい内容は参加された会員までお尋ね下さい。

あっという間の9時間。飛び入り参加いただいた中島太郎OBの一本締めで今年の厄落としの会も無事閉会した。(記事:北口)

ススメアスイ!



新聞を読むとき、見出しに興味のある記述があればすぐに反応し中身が読みたくなります。言い換えれば、興味がないと読まない事も多いでしょう。好きな事や興味のあることは、誰に薦められるわけでもなく勝手に頭の中に入ってくると思います。

しかし、私たち経済人は好きな事ばかりを求めていても進歩がありません。何なのか分からないから聞いてみたり参加してみる事で、意外と簡単だったり、経営や会話のヒントになったりして将来への展望が見えてきたりもします。新しい価値観を自身のものとし、思いを形にしていけるためには、勇気を出してまず参画するという行動に移す事だと思います。「躍動」への入り方は、その心がけも入り口ゲートのひとつだと思います。(会長 増井幸一)

1月度委員会報告

地域ビジョン委員会

平成22年1月14日(木)於:日吉津村海浜運動公園 出席者/11名
議題/・35周年記念イベントについて

政治行政委員会

平成22年1月11日(月)於:居酒屋とらや 出席者/16名
議題/・下半期委員会運営について

ビジネス委員会

平成22年1月13日(水)於:株さんれいフーズ 出席者/13名
議題/・会員企業発展手法について

自然文化発掘委員会

平成22年1月12日(火)於:ふれあいの里 出席者/11名
議題/・2月担当例会打合せについて ・歴史考察について

広報委員会

平成22年1月7日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/16名
議題/・ハンサム、ホームページについて
・35周年記念誌について

総務委員会

平成22年1月8日(金)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/17名
議題/・1月新年例会について
・35周年事業(式典・祝賀会)について

2月役員会報告

2月役員会が平成22年2月1日(月)、米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

・1月新年例会報告の件 ・2月例会開催の件 ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

2月例会のご案内

と き:平成22年2月16日(火) 18:45~

と ころ:米子市福祉保健総合センターふれあいの里 1階大会議室

内 容:温故知新 ~「地元の歴史に見るリーダー像」

担 当:自然文化発掘委員会

編集後記

35期も残すところ5ヵ月となりました。

4月には35周年記念式典も控えており、組織図も出来上がって式典に向けて着々と準備が進んでいます。

広報委員会も、記念誌の発行ということでこれからの委員会活動の中身が更に濃いものとなりますが、頑張って完成度の高い記念誌を発行したいと思います。

各委員会の皆さんも頑張って行きましょう。(記事:松本)

新入会員
《コピーをして名簿にお貼りください》